

建災防谷山分会災防大会

経営者自ら安全対策を

建設業労働災害防止協会県支部谷山分会(富迫茂分会長)は7日、鹿児島市の谷山サザンホールで23年建設業労働災害防止大会を開いた。多くの来賓が出席する中、労働災害撲滅に向け、さらなる安全と企業の繁栄を誓った。

この日は大会に先立ち、谷山神社で安全祈願祭が行われ、富迫分会長が「労働災害の絶滅と建設現場の安全の安全確保を誓います」と力強く安全宣言を行い、神前に玉ぐしを捧げた。

その後、谷山サザンホールに移動し、災防大会に臨んだ。会場には来賓を含め65人が参加。初めに全員で黙



建設業労働災害防止協会県支部谷山分会(富迫茂分会長)は7日、鹿児島市の谷山サザンホールで23年建設業労働災害防止大会を開いた。多くの来賓が出席する中、労働災害撲滅に向け、さらなる安全と企業の繁栄を誓った。

この日は大会に先立ち、谷山神社で安全祈願祭が行われ、富迫分会長が「労働災害の絶滅と建設現場の安全の安全確保を誓います」と力強く安全宣言を行い、神前に玉ぐしを捧げた。

その後、谷山サザンホールに移動し、災防大会に臨んだ。会場には来賓を含め65人が参加。初めに全員で黙

建災防管工事分会災防大会
災害ゼロへ原点回帰



建設業労働災害防止協会県支部管工事分会(青木英一郎分会長)は、県管工事業協同組合連合会(同会長)、鹿児島市管工事協同組合(同理事長)は7日、鹿児島市の鹿児島管工事会館で第34回労働災害防止大会を開いた。関係者約100人が出席。「安全第一」の原点に返

(株)古川組(花田康隆)▽
個人の部・功労賞Ⅱ大山剛(株)古川組(嶽耕造)(株)吉永土木(株)上笹貫義彦(株)内山武組 今村琢矢

(株)仲野建設(株)東智(稲森クレイン建設(株)東直史(大塚建設(株)正岡和幸(株)大慶建設(株)下荒磯智章(有)斉藤建設(株)坪田

拓也(三輝開発工業(株)井上俊二(ナンテック工業(株)樋口義人(馬場建設(株)

第一の原点に返り、活動の徹底を「現場での安全管理に、より一層の尽力をお願いする」などと述べ、さらなる意識高揚を求めた。

鹿児島市に路面清掃車等寄贈
事故対策に活用を



JA共済連鹿児島(川井田幸一運営委員長)は6日、「地域の安全・安心プロジェクト」事業の一環として、鹿児島市に路面清掃車や高規格救急車等(総額約6500万円相当)を寄贈した。同市では早速、現場に投入して交通事故対策等に活用する方針だ。

贈呈内容は、交通安全教育機材(軽自動車1台、ドライビングシミュレーターパソコン等の機材一式)、路面清掃車(ロードスイーパー)2台、高規格救急車1台。

みなと大通り公園で行われた式典で、川井田会長は「交通事故の発生件数は年々減少している

が、毎年多くの命が失われている。交通安全意識の高揚など、さまざまな活動の一助になれば」と述べ、レプリカキーを贈呈した。

これを受け森市長は、「桜島の爆発回数は22年に過去最高記録を更新し、今年も予断を許さない状態。また、交通事故に占める高齢者の割合が増加して対策が急務となっている。今後、安心・安全なまちづくりのために活用したい」と述べた。

同市道路維持課によると、路面清掃車は今回の2台を含め計53台となる。今後、試運転を兼ね、現場に投入することになっている。

鹿 児 島 建 設 新 聞

J A南薩澱粉施設安全祈願祭

新事業展開に期待

J A南薩澱粉施設安全祈願祭が5日、南九州市知覧町の現地で関係者約

80人が出席して執り行われた。神事では、塗木敏治JA南薩甘しよでん粉協同事業体代表理事組合長、寺師幸男鹿児島県くみあい開発(株)社長、西園是洋県経済農業協同組合連合会代表理事理事長、室井孝仁北斗工機(株)社長、武部正夫九州化工(株)社長、木落孝作(株)木落建設社長らが地鎮の儀を行い、



期完工を祈願した。神事後、施主である寺師社長は「地域環境型への取り組みをはじめとする新たな販路拡大、新事業の展開が期待できる」と述べ、同施設に期待を寄せた。

今回の施設設計画は、県下にあるJAグループの小規模型澱粉工場を、3カ所(種子島、鹿屋、南薩)に集約、再編を図り、大規模型の工場を建設することで効率性を高めた食品加工工場として確立させることが目的。

建設場所は、南九州市知覧町東別府字後野出口



測量機器を体験する児童ら。屋久島の現場で

公共事業への理解を深めてもらおうと、県屋久島事務所の宮浦小護岸の必要性理解。児童は「宮浦小護岸の必要性理解」が12月21日、毛支庁屋久島事務所が主催した。招待された地元の子供たちが、宮浦小学校6年生50人と引率教諭2人の計52人が、社会基盤整備の重要性に理解を深めた。

この日は、見学会に先立ち学校体育館で波の発生と波消しブロックの効果について、同事務所の担当者がパンフレットやパネル、水槽を使って分かりやすく説明。水槽を使った実験で

宮之浦海岸現場見学会
宮浦小護岸の必要性理解

県屋久島事務所

は、積極的に参加するなど興味を示していた。その後、子供たちはバスに乗り込み現場に移動。現場では、施工を担当する日建工学(株)と(株)鹿児島グリーン総合建設の工事担当者らが笑顔で出迎えた。子供たちは、宮之浦海岸の現場説明を受けた後、早速重機の試乗や測量機器を体験。普段接することのない重機や機器の体験に終始笑顔浮かべていた。

三洋ハウス新年会

さらなる飛躍を

三洋ハウス(株)(逆瀬川勇社長)の新年会が6日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルであった。鹿児島市の鹿屋島サンロイヤルホテルであった。社員や関係者158人が出席し、今年1年の互いの飛躍を誓い合った。写真。

新年会開会宣言後、こ

れまでの会社の歩みや「木間々々家」、「木間家」、最新低価格住宅(777万円)「フェアリー」など、豊富なラインナップをビデオ上映しPRを行った。

逆瀬川社長は「多様化する顧客のニーズに対応し、変化はチャンス」ととらえ、社員一人ひとりのスキルアップや仕事に対する前向きな姿勢が大切。生きがいを感じ、職場の構築に努力していきたい」と抱負を語った。

三洋ハウス協力業者で構成する三洋会の古市康久会長(有)メゾンインテリア社長)が乾杯の音頭を取り、出席者全員で盛大に祝杯をあげた。

また、本店・中央店の社員全員が今年一年の目標や抱負などを発表したほか、4月採用の新人社員の紹介も行われ、会場全体が活気にあふれていた。

